

은/는

主題を示す助詞

日本語の「は」に当たります。ここは素直に重なりますが、韓国語の 은/는 は対比の色が濃いぶん、日本語なら「は」で済む場面でも使えないことがあります。

■ つけ方

語末	形	例
パッチムあり	은	학생은
パッチムなし	는	친구는
나（くだけた）	나는 / 난	縮約形もよく使う
저（丁寧）	저는 / 전	縮約形もよく使う
他の助詞のあと	에는・에서는	집에는
이/가 とは共起しない	×	학생이는 とは言えない

■ 「は」とどう違うか

話題を示す、という基本は「は」と同じです。저는 카스미예요（わたしはカスミです）。自己紹介や、文の話題を立てる場面はそのまま対応します。

ずれるのは対比の強さです。韓国語の 은/는 は「ほかはさておき、これは」という含みが日本語より前に出ます。김치는 좋아해요 と言えば「キムチは好き（ほかは微妙）」と聞こえやすく、単に好きだと言いたいなら 김치를 좋아해요 が自然です。

答えの中心には使えません。누가 왔어요? の答えは 마이클이 왔어요 で、ここで 은/는 を使うと質問に答えていないことになります。日本語の「マイケルは来ました」と同じずれ方です。

なお 은/는 と 이/가 は重ねられません。日本語で「私はが」と言わないのと同じで、どちらか一方です。

■ 例文

- 1 저는 한국어를 공부해요.
わたしは韓国語を勉強しています。
- 2 오늘은 시간이 없어요.
今日は時間がありません。
- 3 형은 회사원이고 동생은 학생이에요.
兄は会社員で、弟は学生です。
- 4 커피는 마시지만 술은 안 마셔요.
コーヒーは飲みますが、お酒は飲みません。
- 5 이 책은 어때요?
この本はどうですか。
- 6 집에는 아무도 없었어요.
家には誰もいませんでした。

■ 紛らわしいもの

이/가

答えの中心、新しい情報、있다・없다の主語には 이/가 を使います。은/는 は話題を立てるとき。日本語の「は・が」より境界がはっきりしています。

저는 학생이에요. (話題) / 누가 왔어요? → 제가 왔어요. (答え)

을/를

「を」に当たる目的語の助詞です。好き嫌いを言うときは 을/를 が基本で、은/는 にすると対比が出ます。

김치를 좋아해요. (普通) / 김치는 좋아해요. (ほかは？という含み)

도

「も」です。도がつくと 은/는 は消えます。

저도 학생이에요. (○) / 저는도 (×)

■ まちがえやすい点

- ✕ 학생이는 왔어요.
○ 학생은 왔어요.
이/가 と 은/는 は重ねられません。どちらか一方だけです。
- ✕ 누가 왔어요? → 마이클은 왔어요.
○ 누가 왔어요? → 마이클이 왔어요.
答えの中心になる語には 이/가 を使います。은/는 だと「ほかの人は？」という対比になります。
- ✕ 저는도 갈게요.
○ 저도 갈게요.
도がつくときは 은/는 を落とします。日本語で「わたしはも」と言わないのと同じです。